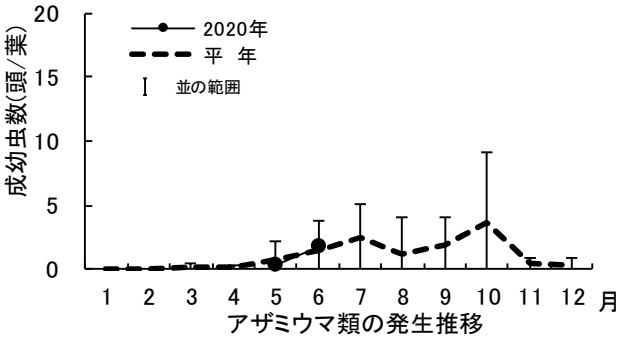
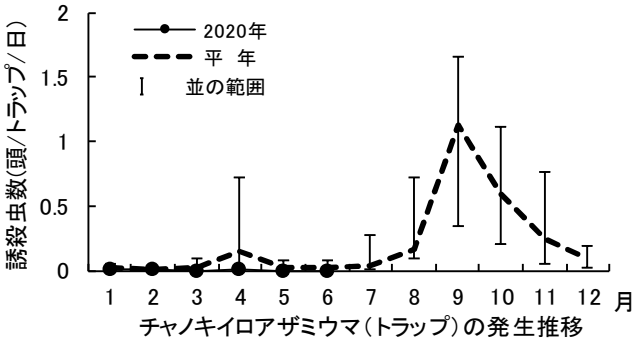
令和　2 年度　　7 月予報

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
予報	7 月の発生量（平年比）	並	
	6 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	6 月の発生量（平年比）	並	
	その他 （気象要因など）	平年の発生量の推移（↗） 今後１か月の気温が平年より高い見込み	

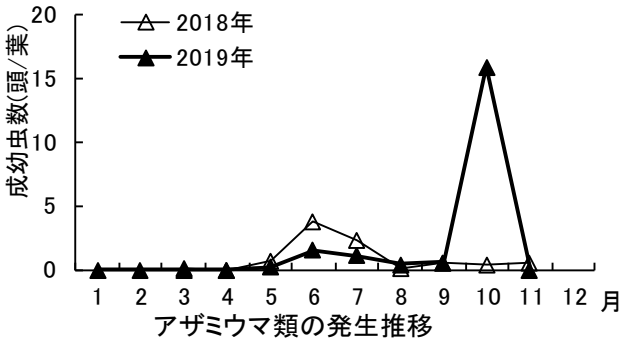
調査結果

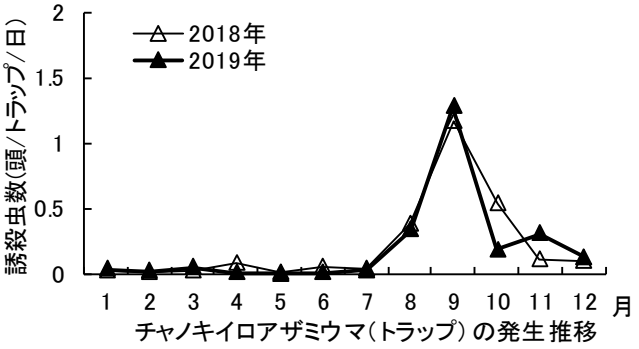
今期と平年の推移





過去2年間の推移





・発生ほ場率：40.0%（平年：43.2%）

防除のポイント

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・収穫期に発生の多かった施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

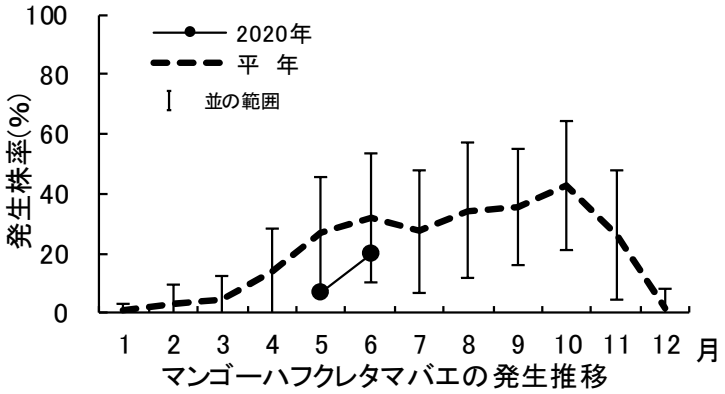
ナガエコミカンソウ

令和　2 年度　　7 月予報

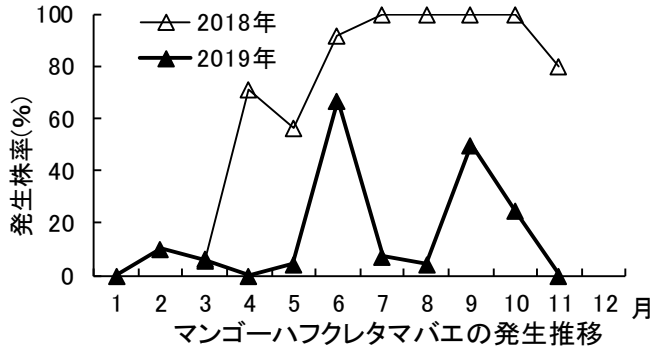
作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ		
予報	7 月の発生量（平年比）	並	
	6 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	6 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	今後１か月の気温が平年より高い見込み	

調査結果

今期と平年の推移



過去2年間の推移



・発生ほ場率：20.0%（平年：44.2%）

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

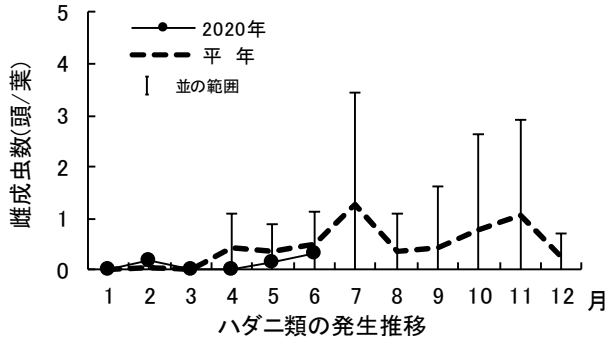
・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

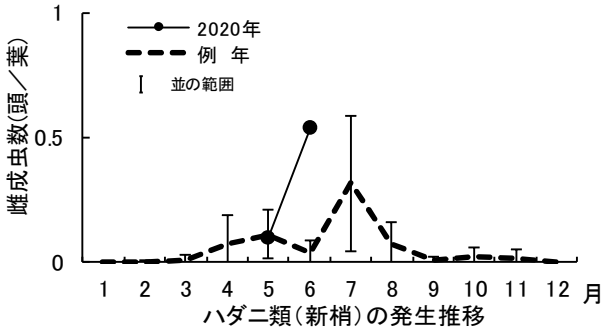
令和　2 年度　　7 月予報

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	③ ハダニ類		
予報	7 月の発生量（平年比）	並	
	6 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	6 月の発生量（平年比）	並	
	その他 （気象要因など）	平年の発生量の推移（↗） 今後１か月の気温が平年より高い見込み	

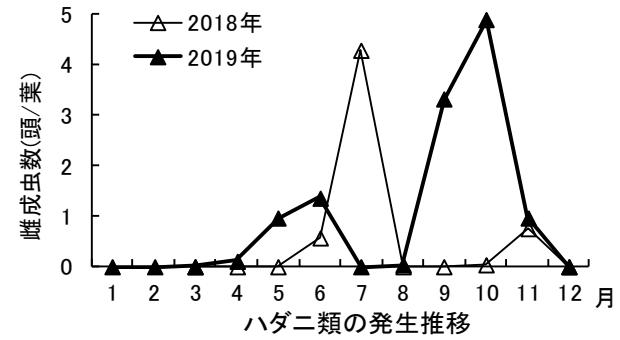
調査結果

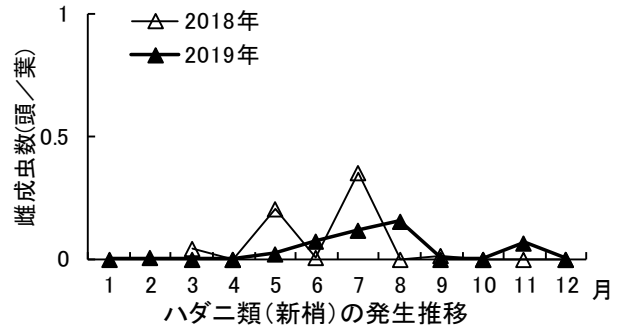
今期と平年の推移





過去2年間の推移





・発生ほ場率：40%（平年値：40%）
・発生種：シュレイツメハダニ
・一部ほ場で多発した

防除のポイント

・収穫終了後の防除を徹底する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症